

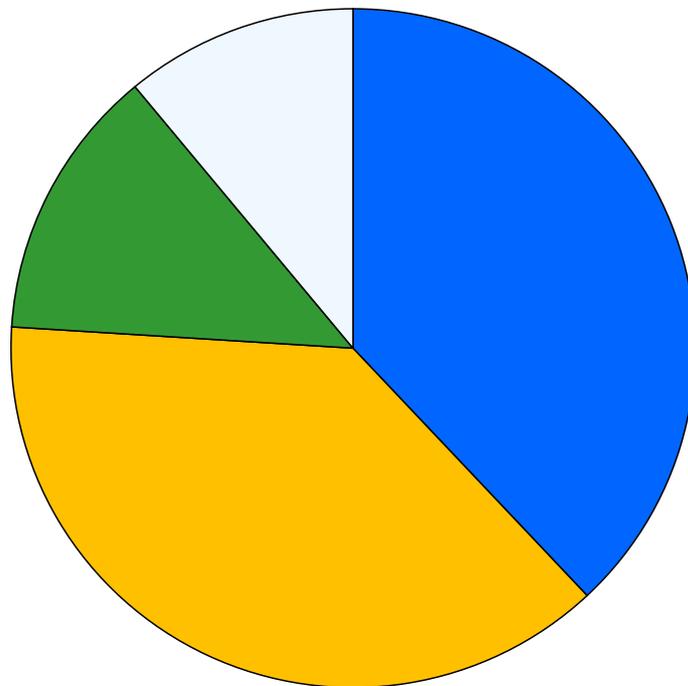
プログラム名 【オンライン】第3回「愛の見える化」から始める防災準備
テーマ「地元愛」

単元名 RA

アンケートタイトル 【オンライン】第3回「愛の見える化」から始める防災準備
テーマ「地元愛」

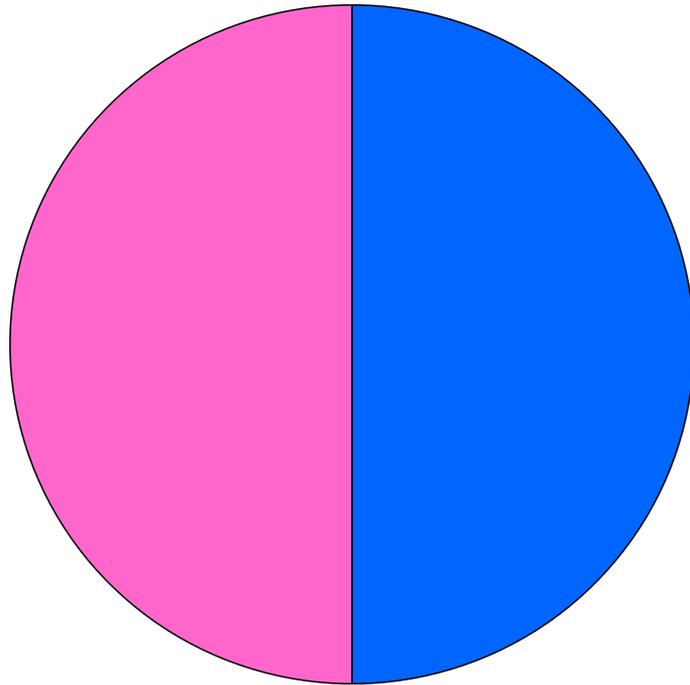
質問1 本プログラムを同僚や家族、友人など周りの方にお勧めしたいと思いますか。11段階でお答えください（10＝必ず勧める ～ 0＝勧めない）（択一式）

No	解答	人数	%
1	10＝必ず勧める	3	38%
2	9	0	0%
3	8	3	38%
4	7	1	13%
5	6	0	0%
6	5＝どちらでもない	1	13%
7	4	0	0%
8	3	0	0%
9	2	0	0%
10	1	0	0%
11	0＝勧めない	0	0%
		合計	8



質問2 「地元(お住いの地域)との関わりから防災対策の見える化をする」について考えていただきましたが、防災対策の見える化はできましたか？(択一式)

No	解答	人数	%
1	できた	4	50%
2	ある程度できた	4	50%
3	どちらでもない	0	0%
4	あまりできなかった	0	0%
5	できなかった	0	0%
合計		8	



質問3 本プログラムを通して、気付いたこと、これからご自身で実践したいと思ったことはありますか。
小さなことでも構いませんので、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

・特になし

・最後に宣言しましたが、まずは江の島強力プロジェクトを体験したいです。ご支援をお願いします。セミナーぜひ開催してください。

・鎌田さんご自身の地域での多様な防災活動の内容につき、直接お話を伺い、防災活動の見える化ができた。これを自分の立場に置き換えて、一步一步積み重ねてゆくことで、自然災害などへの備えとしたい。

・コロナ禍で止まってしまった地域の防災活動をもう一度、リスタートしたいと思います。

・有難うございました。鎌田先生のお話はうなづく事ばかりでした。嘆いてばかりでは前に進まないなので、新住民の方にアタックして進めて行こうと改めて思いました。次回も参加させて頂きたいです。

・本日は大変有意義な時間になりました。人とのつながりの大切さを痛感しました。

・①現在参加している地元NPO活動「里山保全活動（田んぼ）」を通じて地域での役割をしっかりと担う。これは、すぐに防災に結び付ものではありませんが、地元とのかかわりを強くすることで様々な関係に広げて、強い地域づくりに貢献できればいいと思う。（実際難しいと思いますが・・・）②ご近所、隣三軒両隣は「会えばご挨拶する程度」の関係。特に、新しい住宅団地の人や、集合住宅の人たちは顔もわからない人が多い。単なる挨拶+one（寒いですねとかなんでもいい）でジワジワ関係づくりをしたい。地元への貢献というと、よく消防団という話がでてきますが、個人的に消防団はなかなかハードルが高いというのが本音です。ほぼ現場で使われることのない「消防操法」なんかは大会に参加すること自体が目的となっていて、平日の夜練習していたり飲み会なんかもやたら多い印象があって・・・よほどの覚悟がないと入れないかなあ。そういう存在になってしまっている。でも地域住民を把握してるのは彼らなので頭の下がる思いです。③コロナになってわが地域はなくなったようですが家族で地域防災訓練への参加すること。コロナだからこそやるんだ！という方々の言葉に目の覚める思いです。・・・確かにそうだよなあ

・かりあげクンこと鎌田先生は頭の中も刈り込んですっきりしている。訓練による習慣化ができていた素晴らしい。自分は相変わらず、簡明に気の利いたことがいえない。さん、さんの発言はさすがだ。3年前（コロナ前）に仲間と思案・相談していた避難所運営協議会と地域の人たちとのつながりづくりは、今年小正月行事どんど焼きが復活したことで、青少年育成会、地域の人、中学生たちの非常食・炊き出し訓練に参加、一歩前進した。

質問4 全体を通してのご感想やご意見、レポートでご参加いただいた方はその理由、今後の開催に向けての改善点等ございましたら、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

・特になし

・楽しくかかわりながら、防災対策に関して自ら実践したいこと、実践できることが明らかになっていく。まさに「見える化」される。短時間ですが、たいへん役に立つ内容でした。ありがとうございました。

・3回目は全員リピーターで、コミュニティとして意識の共有がされていたが、今後新規参加者をどう受け入れるかが課題と思う。

・「「愛の見える化」から始める防災準備」について、3回にわたり参加させていただきました。今後は、絆のある人、地域へのそれぞれの愛を「見せる化」する活動につなげたいと思います。

・自己紹介の時、何県に住んでいるところが分かれると親近感がわくのではと思いました。

・教官の行動力には毎度毎度感服させられると同時に刺激を受けます。また、参加されている方々も地域で防災等を担っておられるなど普段の仕事とは違った分野の方との関りはとても新鮮です。

江の島の強力が「車いすの彼女とのデート」「車いすの新婦（新郎）の父親の江の島結婚式への参加」「ふるさとの納税の返礼品（候補）」など広がりを見せてきており、地道に継続しつづける大切さを感じました。今年、スケジュールが合えば強力PJへの参加を希望します。いくつもの顔を持つ教官ですが、どのようにスケジュール管理しているのかも知りたいですね。

・別な用事が入っていたが前日、予定が消えたので当日の朝、アクセスしたら受付ボタンが残っていてラッキーでした。参加できてよかった。時々、こういう機会を体験しないとボケがますます進む。しばし、ボケの進行をスローにしなければ。